

## 10. 塩水噴霧試験における耐食性

タナカーAZの塩水噴霧試験（JIS Z 2371 に準拠）における腐食減量は、表5に見られるように、溶融亜鉛めっきのおよそ1/6となっています。溶融亜鉛めっきは1000時間で赤錆をすでに発生していましたが、タナカーAZは10000時間以上でも赤錆の発生はなく、その高い耐食性を外観観察から確認できます。

表5 塩水噴霧試験における腐食減量 (g/m<sup>2</sup>)

試験時間	溶融亜鉛めっき	タナカーAZ
250	113.5	27.9
500	219.8	43
1000	278.2	47.1
2000	-	56.1
5000	-	59.7
10000	-	74.8

[塩化アンモニウム水溶液除去法]

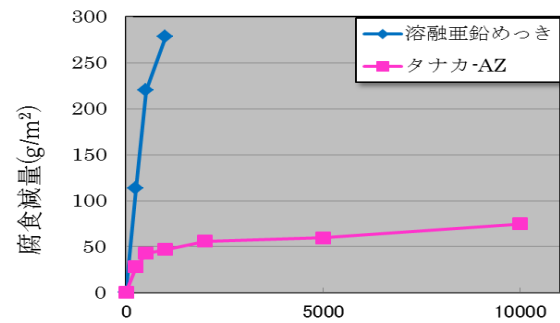


図4 塩水噴霧試験における腐食減量

		試験前	500時間	1000時間	2500時間	5000時間	10000時間
溶融亜鉛めっき	H D Z T 7 7 ★						
	H Z A 3 6 A **						
タナカーAZ	H Z A 5 0 A ***						

写真 塩水噴霧試験での外観変化

\* 80 μm \*\* 40 μm \*\*\* 70 μm